



応援します、生涯学習 - ふえる知識と仲間の輪

平成30年4月1日発行

あい風通信

36号

(学びのスタンプ通算43号)



開校 10 周年記念 講演会

～寺島実郎氏を講師に迎えて 5月開催～

開校10周年記念事業は記念式典、記念講演、記念講座、記念誌発行および祝賀会等を計画していますが、その第一弾として、講師に寺島実郎氏を迎えて以下の日程で記念講演会を開催することになりました。寺島氏はテレビのサンデーモーニング等で豊富なデータにもとづく的確な現状認識と将来展望をコメントされる先生です。皆さん、今から日程を空け、奮ってご参加下さい。

【日時】 平成30年5月22日(火) 10:00～11:00

【会場】 石狩市花川北コミュニティセンター1階ホール (石狩市花川北3条2丁目198-1)

【参加費】 無料 (要事前申込) [学びのスタンプは押印します]

【申込先】 石狩市公民館 (Tel & Fax 0133-74-2249) ; HP [http://www.ishikari-c-college.com/]

◆主な役職：一般財団法人 日本総合研究所会長、一般社団法人 寺島文庫代表理事、多摩大学学長、立命館アジア太平洋大学国際経営学部客員教授、北海道ガス(株) 顧問 等

◆主な経歴：1947年 北海道に生まれる；1973年 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了、三井物産入社；2002年4月 早稲田大学大学院アジア太平洋研究所教授；2006年4月 三井物産(株) 常務執行役員；2001年6月 財団法人 日本総合研究所理事長 等

◆主なメディア出演：TBS系列「サンデーモーニング」(日曜日8:00～)；BS11「寺島実郎の未来先見塾 週刊寺島文庫」(毎週金曜日20:59～)、BS日テレ「深層NEWS」(月～金曜日22:00～) 等

平成30年度 主催講座のご案内 (4～6月)

今年度の主催講座が決まりました。詳細は同封のパンフレット「2018年度講座一覧」をご覧ください。

講座1 北方領土と北海道～道新編集委員による教養講座～ 4/12(木)、4/19(木)、4/26(木)

戦後73年、日ロ間には未だ平和条約がありません。その最大の障害が北方領土問題です。この間、日本は解決へ向けた何度かのチャンスを逃してきました。一方で北海道、とりわけ地元の根室地方は領土問題で大きな影響を受けてきました。その経過と現状を解説し、今後の展望を探ります。

講座2 騙されないために～騙される仕組みを知る～ 5/11(金)、5/18(金)、5/25(金)

自分だけは騙されないと思いつつ、騙されてしまう事があります。その原因は騙される人の知識が不十分だけでなく、詐欺師は人間大脳の仕組みに起因する錯覚や心理を巧みに利用してくるためなので、そのことについての学習を深めます。

講座3 アイヌの側から見た北海道150年 5/31(木)、6/7(木)、6/14(木)

本道は「蝦夷地」と呼ばれていましたが、松浦武四郎が「北加伊道」を含む6つの名前を候補とする意見書を明治政府に提案し、1869年(明治2年)

「北海道」と命名されてから150年目の節目を迎えます。蝦夷地はアイヌの人たちの暮らす大地でした。開拓の名のもとに和人が移住してきて大きく変貌しました。北海道の歴史をアイヌの側から見るとどうでしょう。

アイヌの歴史や文化に関心を持つ良い機会になるのではないのでしょうか。

講座4 躍進する石狩湾新港～先端企業を訪ねて～ 6/1(金)

石狩湾新港に立地している企業は、あまり石狩市民には顔馴染みではない企業もありますが、全道的には知名度の高い特色ある企業が操業しています。今回は「日建片桐リース(株)」と「エフピコダックス(株)」の2社を見学します。是非、石狩湾新港の普段とはちがう姿を見て下さい！

市民カレッジデータ

(3月22日現在)

○登録者～215人

○連携団体～107団体



□ゴ制作者

丸山英里子さん

平成 30 年度「まちの先生企画講座」のご案内

平成 30 年度の「まちの先生企画講座」の詳細は、同封の講座案内一覧の通りです。小物作りの 2 講座は、ボトルキャップなど身近な物をお洒落な小物に変身させたり、縁起物のさるぼぼを作ったりするもので、気楽に楽しんで頂けるとと思います。筆ペン講座は宛名書きなど実用に役立つ実践的なもの、パソコン講座はスタッフが講師を務め、できるだけ分かりやすく解説するよう心がけます。30 年度「まちの先生企画講座」に、どうかご期待ください。

第 18 回修了証授与式 **学びの証を 8 名が受証**

授与式は、3 月 14 日(水)12 時 30 分から市役所ロビーで行なわれました。学長の田岡市長から出席した 6 名のレッジ生に修了証が手渡され、「皆さんの学びが市民力アップにつながっています」とお祝いの言葉を述べられました。その後 4 階に移りコーヒーで交流を深め、さらなる学びを誓い合いました。

- ・ブロンズ(30s)1 人・シルバー(60s)3 人
- ・ゴールド(90s)3 人・ダイヤモンド(200s)2 人
- ・スーパーダイヤモンド(300s)1 人



公民館まつりで市民に **PR**



3 月 3 日(土)・4 日(日)に行われた「公民館まつり」に今年も参加しました。3 日(土)には村山耀一さんが講師となって「ミニ講座～絵地図と空からの写真で石狩を散歩してみよう～」を行い、カレッジ生や市民約 50 名が受講され好評でした。

1 階展示会場では、市民カレッジの活動を紹介する資料やポスター展示、スライド上映などを行い、訪れた市民にスタッフが解説していました。また、2 日間で新規加入された方が 2 人、更新手続きを行った方が 30 人いらっしゃいました。ご協力ありがとうございました。

市民カレッジ新年交流会を行いました

新年交流会は、1 月 18 日(木)午後 6 時から市民プール 2 階ホールにおいて行われ、運営委員・教育委員会・カレッジ生・講師・連携団体などから 36 名が参加しました。

田岡学長の挨拶と林運営委員長の乾杯で始まり、円卓を囲みビールやジュースなどで喉を潤し、オードブルをつまみながら和やかに歓談しました。そんな中で、参加者の楽しいコメントや山本治さんの手品があり、ハーモニカ演奏や全員合唱で盛り上がるなど、あっという間の 2 時間でした。

最後は鎌田教育長の乾杯で締めくくり、市民カレッジ開校 10 周年に向けての力強い第一歩を記すことが出来ました。

掲 示 板

**カレッジ生募集中です
年度更新手続きは 4 月中に！**

今年度の第 1 講座は 4 月 12 日から始まり、注目の講座が目白押しです。早目に手続きを行って講座をお楽しみください。

受付は、カレッジ事務局（市公民館）ですが、講座受講時の受付でも扱っています。

よろしくお願ひします。

チョコっと いしかり学 《3》

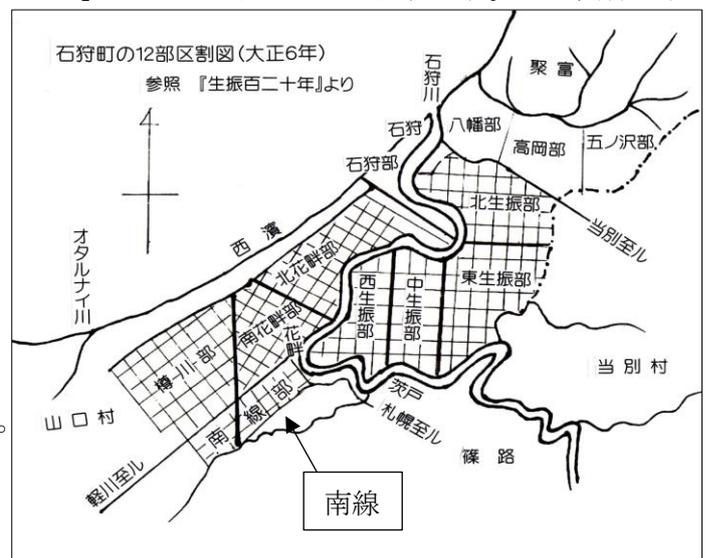
「南線」という呼称の由来

村山 耀一

花川南地区にある南線小学校と南線神社には「南線」の名がついています。どうして南線と呼ばれるのでしょうか。これは明治26年(1894)に制定された殖民地区画と関係があります。当時、斜め防風林を境に西側は樽川村、東側は花畔村と称していました。殖民地区画では新川から現茨戸川に向けて第1線から第12線まで区画され、一方、本町地区の外れから斜め防風林に向って第1線から第14線までの区画がされていました。

明治35年(1902)、二級町村制が施行された時、樽川村と花畔村が合併して花川村が誕生しました。しかし花川村内に二つの区画線が存在し同じ地番表示が現れ紛らわしいため、新川から茨戸川にいたる区画線の頭に「南」をつけ、本町側からの区画線の頭に「北」をつけて呼んでいたようです。その関係で

特に現在の道道手稲石狩線より南東側地区を「南線」(当時は「なんせん」と呼んでいた)と称するようになったのです。ちなみに南線小学校は明治39年(1906)に南線尋常小学校として認可され、南線神社は明治38年(1905)に南線神社の名で遷座されています。しかし、明治40年(1907)に一級町村制が施行され、石狩町と花川村が合併し新しく石狩町が誕生したのですが、「南線」の呼び名は、小学校や神社の名前と共に引き継がれているのです。尚、花川の地名は、昭和51年(1976)にこの地区の宅地化に伴い、団地の字名改正により、再び取り入れられ、花川南、花川北と呼ばれるようになったのです。



参考資料 『南線神社概史』

こぼれ話 《数字で見る9年間》

平成21年4月に開校した「いしかり市民カレッジ」は、多くのみなさまのご

援を受け、おかげさまで今年10周年を迎えます。そこで、開校から9年間の歩みを、数字で見たいと思います。まず、専門家をお招きして様々なテーマを学ぶ「主催講座」は、144講座・336回開催しました。年平均ではおよそ16講座・37回となります。また、市民が自分の技術や知識を活して少人数で対面型の「まちの先生企画講座」は1年遅れてスタートし、33講座・102回(年平均4講座・12回)開催しました。

その結果、主催講座は、13,549人のみなさまに受講して頂きました。1回平均で40人になります。まちの先生企画講座は、1,871人に受講して頂き、1回平均18人です。両講座を合計すると、15,420人になり、年平均では、約1,700人です。

以上のように、開校からこれまで多くのみなさまに受講して頂きました。これからもみなさまが思わず受けたくなるような魅力ある講座を企画するよう努めていきたいと思っております。10周年をステップとして、どうかこれからも「いしかり市民カレッジ」へのご支援をよろしくお願い致します。(石井滋朗)



■ 発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：石井、鈴木、徳田、三上、光川

■ お問い合わせ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42

TEL：0133-74-2249 FAX：0133-74-2249

E-mail：kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

HPアドレス：http://www.ishikari-c-college.com/